

|      |   |      |        |          |             |
|------|---|------|--------|----------|-------------|
| 科目名  | 臨床微生物学Ⅱ (Clinical Microbiology Ⅱ)   |      |        | 科目コード    | 426         |
| 開講学科 | 臨床検査学科  | 選択区分 | 必修     | 単位数 (時間) | 1 単位 (15時間) |
| 科目区分 | 専門科目  | 履修時期 | 2 年次後期 | 関連DP     | 臨②③④        |
| 担当教員 | 美間 健彦、安川 正貴   |      |        |          |             |
| 授業概要 | ウイルスの分類・病原性と検査法について教授する。感染症法に定められているウイルスについて教授する。   |      |        |          |             |
| 授業目標 | ウイルスの特徴や病原性について理解する。またウイルスの検査方法について、検体の取扱法や検体中のウイルス分離・検出法、血清学的検査法および遺伝子検査法について学ぶ。さらにウイルスなどの微生物に関する感染症法について学ぶ。 |      |        |          |             |

授業計画

| 回            | 項目  | 内容  | 担当者  |
|--------------|---|---|------|
| 1            | ウイルス学総論 (1)   | ウイルスとは、ウイルス学の歴史、ウイルスの構造と形態                        | 安川正貴 |
| 2            | ウイルス学総論 (2)   | ウイルスの分類、感染様式と伝播、ウイルスの不活化、ウイルス感染症の予防と治療            |      |
| 3            | ウイルス学総論 (3)   | 新興・再興感染症、人獣共通感染症など                                |      |
| 4            | DNAウイルス (1)   | ポックスウイルス、ヘルペスウイルス、アデノウイルスなど                       | 美間健彦 |
| 5            | DNAウイルス (2)   | パピローマ・ポリオーマウイルス、パルボウイルスなど                         |      |
| 6            | RNAウイルス (1)   | オルトミクソウイルス、パラミクソウイルス、トガウイルス、フラビウイルス、レトロウイルスなど     |      |
| 7            | RNAウイルス (2)   | フィロウイルス、アレナウイルス、コロナウイルス、ピコルナウイルス、レオウイルス、ラブドウイルスなど |      |
| 8            | ウイルス検査法   | ウイルス分離・検出法、血清学的検査法、遺伝子検査法<br>ウイルス検査検体の採取法         |      |
| 成績評価方法       | 筆記試験 (安川分 30%、美間分 70%) で評価する。   |   |      |
| 教科書          | 松本哲哉 編「最新 臨床検査学講座 臨床微生物学」(医歯薬出版)  |   |      |
| 参考図書等        | 吉田眞一・柳 雄介・吉開泰信 編「戸田細菌学」(南山堂)  |   |      |
| 授業時間外の学習について | 前回の項目について配布プリント及び教科書等を参考に復習する。次回の項目について教科書等を参考に予習する。  |   |      |
| 関連科目         | 424 微生物学、427 微生物学実習、426 臨床微生物学Ⅱ、428 臨床微生物学実習、442 院内感染管理学、447 医学検査診断学Ⅰ、444 臨地実習Ⅰ、445 臨地実習Ⅱ、446 臨地実習Ⅲ |   |      |
| 備考           | 実 安川：医師 (医療機関)  |   |      |